

なかがわ 議会だより

No **112**

2015.4

▶発行/中川町議会 編集/議会広報特別委員会



3月22日 生涯学習センター「ちゃいむ」オープン記念事業 千昌夫コンサート

主な 内容

- 第1回 定例会
- 予算条例審査特別委員会
- 第1回 臨時会
- 第2回 臨時会
- 議会関連報告
- 編集後記

◆第1回定例会◆

平成27年第1回定例会は3月6日招集され、会期を12日までとし、町長の平成27年度予算編成方針、教育長の平成27年度教育行政予算編成方針が示され、議案37件、意見書1件、会議規則3件を決議し、閉会しました。



第1回定例会の様子

議案審議結果

【条例・予算など】

▼特別職の給与の減額支給に関する条例の制定

【原案可決】

▼教育長の給与の減額支給に関する条例の制定

【原案可決】

▼中川町地域包括支援センターの職員等に関する基準を定める条例の制定

【原案可決】

地域主権一括法により介護保険法に基づく、地域包括支援センターに関する職員等の基準を市町村が定めることに伴い、本条例を制定

▼中川町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の制定

【原案可決】

地域主権一括法により介護保険法に基づく、介護予防支援事業所の職員並びに運営に関する条例を明文化し、円滑な運営を進めるために本条例

を制定

▼中川町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定

【原案可決】

▼中川町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定

【原案可決】

▼中川町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定

【原案可決】

▼中川町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の保育料等に関する条例の制定

【原案可決】

▼中川町幼児センター条例の全部を改正する条例

【原案可決】

それぞれ子ども・子育て関連三法の施行により、今まで国の基準で行っていたが、市町村が運営等に係る基準を定めることに伴い、条例を制定

▼中川町放課後児童保育事業条例の一部を改正する条例

【原案可決】

旧中川幼稚園を利用して放課後児童クラブを運営してき

たが、生涯学習センターの開設により、所管を住民課から教育委員会に改め、生涯学習センター「ちやいむ」内で児童クラブを行うことに伴い、本条例の一部を改正



4月より「ちやいむ」で開始された児童クラブ

▼中川町特別職報酬等審議会条例の一部を改正する条例

【原案可決】

▼特別職職員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例

【原案可決】

▼中川町議会委員会条例の一

部を改正する条例

【原案可決】

▼非常勤特別職職員の報酬及び費用弁償支給条例の一部を改正する条例

【原案可決】

▼中川町青少年健全育成委員会条例の一部を改正する条例

【原案可決】

▼職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例

【原案可決】

それぞれ地方教育行政の組織及び運営に関する法律が改正されたことにより、「教育委員会委員長」を「教育長」に改めることに伴い、条例の一部を改正。経過措置として適用については新たな教育長が選任された以降とする

▼職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

【原案可決】

人事院勧告による給与制度の見直しに伴い、本条例の一部を改正

▼中川町行政手続条例の一部を改正する条例

【原案可決】

行政手続法の一部改正に伴い、本条例の一部を改正

▼中川町個人情報保護条例の一部を改正する条例

【原案可決】

統計法の全部改正に伴い、本条例の一部を改正

▼中川町農村交流宿泊施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

【原案可決】

光熱水費を別途負担にしていたが、利用者の負担を明確にし、月額及び日額使用料に光熱水費を含めることに伴い、本条例の一部を改正

▼上川教育研修センター組合規約の変更

【原案可決】

▼町有財産の無償貸付について

【原案可決】

■無償貸付財産名：土地

■住所：中川町字中川541番地1、541番地13

■貸付の相手方：中川町字営35番地 株式会社中川碎石代表取締役 吉田 厚

■地目・面積：原野339, 283㎡

■貸付期間：平成27年4月1日から平成30年3月31日まで

▼平成二十六年度中川町一般会計予算補正

■歳入歳出総額から、それぞれ九一、七〇八千円を減額し、予算総額をそれぞれ四、七三〇、二二八千円とする

【原案可決】

主な補正内容は酪農畜産振興支援事業補助、町道除雪委託料などの減額、繰越明許費、債務負担行為、地方債補正

▼平成二十六年度中川町国民健康保険特別会計予算補正

■歳入歳出総額から、それぞれ三五、二六六千円を減額し、予算総額をそれぞれ二二六、五四〇千円とする

【原案可決】

主な補正内容は一般被保険者療養給付費、退職被保険者療養給付費などの減額

▼平成二十六年度中川町介護保険特別会計予算補正

■保険事業勘定の歳入歳出総額から、それぞれ九六一千円を減額し、予算総額をそれぞれ二〇六、五九〇千円とし、

サービス事業勘定の歳入歳出総額から、それぞれ一四八千円を減額し、予算総額をそれぞれ八、三九五千円とする

【原案可決】

主な補正内容は通所型介護予防事業委託料、訪問型介護予防事業委託料などの減額

▼平成二十六年度中川町後期高齢者医療特別会計予算補正

■歳入歳出総額から、それぞれ三〇五千円を減額し、予算総額をそれぞれ三一、二六二千円とする

【原案可決】

主な補正内容は広域連合負担金・保険料などの減額

▼平成二十六年度中川町簡易水道事業特別会計予算補正

■歳入歳出総額から、それぞれ七一二千円を減額し、予算総額をそれぞれ一九、四一二十円とする

【原案可決】

主な補正内容は量水器取替工事費などの減額

▼平成二十六年度中川町農業集落排水事業特別会計予算補正

■歳入歳出総額から、それぞれ七五九千円を減額し、予算総額をそれぞれ八八、二二七千円とする

【原案可決】

主な補正内容は合併処理浄化槽設置工事費などの減額

▼平成二十七年中川町一般会計予算を定めること

▼平成二十七年中川町国民健康保険特別会計予算を定めること

▼平成二十七年中川町介護保険特別会計予算を定めること

▼平成二十七年中川町後期高齢者医療特別会計予算を定めること

▼平成二十七年中川町簡易水道事業特別会計予算を定めること

▼平成二十七年中川町農業集落排水事業特別会計予算を定めること

▼中川町介護保険条例の一部を改正する条例

▼中川町農業振興センター設置条例の一部を改正する条例

▼中川町自給飼料生産施設設置及び管理条例の一部を改正する条例

■いずれも予算条例審査特別委員会へ付託

委員長 佐藤 正
副委員長 坂尻 栄治

▼予算条例審査特別委員会審査報告

■委員会報告のとおり予算条例審査特別委員会付託の条例案は次のとおり決定

○中川町介護保険条例の一部を改正する条例

【原案可決】

○中川町農業振興センター設置条例の一部を改正する条例

【原案否決】

○中川町自給飼料生産施設設置及び管理条例の一部を改正する条例

【原案可決】

■委員会審査報告のとおり本会議において、特別委員会付託の一般会計ほか五特別会計予算は原案可決

○平成二十七年中川町一般会計予算を定めること

○平成二十七年中川町国民健康保険特別会計予算を定めること

○平成二十七年中川町介護保険特別会計予算を定めること

○平成二十七年中川町後期高齢者医療特別会計予算を定めること

○平成二十七年中川町簡易水道事業特別会計予算を定めること

○平成二十七年中川町農業集落排水事業特別会計予算を定めること

※予算条例審査特別委員会の審査内容については5ページに掲載

【意見書】

▼労働者保護ルール改悪反対を求める意見書

■地方自治法第九十九条の規定に基づき衆参両院議長、内閣総理大臣及び関係各大臣に送付
※意見書は下記に掲載

【会議規則に伴うもの】

▼総務常任委員会所管事務調査報告

▼経済常任委員会所管事務調査報告

■いずれも報告済み
※調査報告については6ページに掲載

▼国営直轄明渠事業なかがわ地区竣工式並びに祝賀会、札幌中川会定期総会及び交流会、東京中川会第十二回交流会
【議員派遣決定】

労働者保護ルール改悪反対を求める意見書

我が国においては、働く者のうち約9割が雇用関係のもとで働いており、雇用労働者が、安定的な雇用と公正な処遇のもとで安心して働くことができる環境を整備することが、デフレからの脱却、ひいては日本経済・社会の持続的な成長のために必要である。

現在、国においては、「成長戦略」のなかで、「解雇の金銭解決制度」や「ホワイトカラー・エグゼンプション」の導入、「限定正社員」制度の普及などといった、労働者保護に関するルールの改定の議論がなされているが、働く者のデメリットのみではなく、労使双方の納得感とメリットを生む改革がなされることが重要である。同様に、労働者派遣法の見直しは、労働者保護の後退を招くおそれがあり、安定した直接雇用への誘導と均等待遇原則に向けた法整備が必要である。

また、雇用改革にかかわる重要課題である労働者保護ルールの改定に当たっては、ILOの三者構成原則に基づき、労働政策審議会において、国際標準から見た整合性も踏まえつつ、公労使三者の代表により、十分な議論がなされた上で行われるべきである。

よって、国においては、労働者が安心して働くことができるよう、下記の事項について強く要望する。

記

1. 不当な解雇として裁判で勝訴しても企業が金銭さえ払えば職場復帰の道が閉ざされてしまう「解雇の金銭解決制度」及び長時間労働を誘発するおそれのある「ホワイトカラー・エグゼンプション」の導入や、解雇しやすい正社員を増やす懸念のある「限定正社員」制度の普及などは、労働者の意向を踏まえ、慎重に対応すること。
2. 労働者派遣法の見直しは、常用労働者との代替が生じないよう、派遣労働の利用を臨時的・一時的なものに限ることを原則としつつ、派遣労働者のより安定した直接雇用への誘導と派遣先労働者との均等待遇原則に向けた制度を整備すること。
3. 労働者保護に関するルール改定は、ILOの三者構成原則に基づく、労働者代表委員、使用者代表委員、公益委員で構成される労働政策審議会において、十分な議論がなされた上で行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出します。

平成27年3月12日

内閣総理大臣 他5名 宛

北海道中川町議会議長 佐藤 輝雄

予算条例審査特別委員会審査報告

予算条例審査特別委員会
(委員長 佐藤 正) が設置
され、三月九日から十一日の
三日間にわたり審議した結果、
次のとおり決定したので、報
告します。

▼付託された事件名

**議案第十二号 中川町介護保
険条例の一部を改正する条例**
第6期中川町介護保険事業
計画(平成27年度から29年度
の3年間)の策定に基づき、
第1号被保険者の介護保険料
をこれまでの所得段階6段階
を9段階に改め、標準的な介
護保険料、現条例では第4段
階、新条例では第5段階の月
額保険料を三、七〇〇円から
四、八〇〇円に改めることに
伴い、本条例を改正

●主な質疑事項

- ・策定委員の構成について
- ・町長の見解と今後の対処に
ついて

- ・新たな制度の確立、安定的
な住民福祉の検討について
- ・住民への説明について

●審査の結果

原案可決すべきものと決定

●委員会意見

本条例改正内容について、
被保険者に丁寧な説明が必要
と考える。

▼付託された事件名
**議案第二十二号 中川町農業
振興センター設置条例の一部
を改正する条例**
町が所有する農業機械を利
用してコントラクト事業を行
う上で、利用の許可、また作
業内容に応じて料金を設定す
ることにより、本条例の一部
を改正

●主な質疑事項
・農業振興センターの役割に
ついて
・農業振興センターの将来の
展望・方向性について
・機械使用料の単価設定につ
いて

●審査の結果
原案否決すべきものと決定

●委員会意見
本事業実施に向けて、再度、
運営母体のあり方、または指
定管理者制度の導入等を早急
に農業振興センターにおいて
協議検討が必要と考える。

▼付託された事件名
議案第二十三号 中川町自給

飼料生産施設設置及び管理条
例の一部を改正する条例

自給飼料の生産、販売にお
いて、単価を設定することに
伴い、本条例の一部を改正

●主な質疑事項

・自給飼料の単価設定につい
て

・町外への販売について

●審査の結果

原案可決すべきものと決定

●委員会意見

農業振興センターにおいて、
指定管理者の管理への移行時
期等の協議検討が必要である
と考える。

**▼平成二十七年中川町一般
会計予算を定めること**
歳入歳出予算総額三、五〇
九、〇〇〇千円

**▼平成二十七年中川町国民
健康保険特別会計予算を定め
ること**
歳入歳出予算総額二五四、
八三八千円

**▼平成二十七年中川町介護
保険特別会計予算を定めるこ
と**
「保険事業勘定」歳入歳出
予算総額二〇六、〇六〇千円
「サービス事業勘定」歳入
歳出予算総額八、二二一十千円

**▼平成二十七年中川町後期
高齢者医療特別会計予算を定
めること**
歳入歳出予算総額二八、二
〇三千円

**▼平成二十六年度中川町簡易
水道事業特別会計予算を定め
ること**
歳入歳出予算総額一二七、
二二三千円

**▼平成二十六年度中川町農業
集落排水事業特別会計予算を
定めること**
歳入歳出予算総額八六、八
二〇千円

●審査の結果
本委員会に付託された平成
27年度一般会計及び5特別会
計歳入歳出予算は、いずれも
原案のとおり可決すべきもの
と決定する。予算執行に際し
ては、更なる経費節減に努め
ていただきたい。

主な質問事項

歳入全般

- ・町民税の滞納繰越・収納対
策の今後について
- ・農業機械使用料について
- ・生産物売却収入について

総務課関係(歳出)

- ・地域おこし協力隊の募集・
採用について
- ・町史編纂事業の進捗状況に
ついて

住民課関係(歳出)

- ・幼児センターについて
- ・中川診療所・中川歯科診療
所の指定管理委託料につい
て

産業振興課関係(歳出)

- ・ポンピラアクアリズインゲ
の指定管理委託料について
- ・農業振興センターの人材確
保について
- ・薪ストーブの助成について

環境整備課関係(歳出)

- ・町道の管理について
- ・排水機場の管理について
- ・町道除雪委託について

教育委員会関係(歳出)

- ・生涯学習センター給水設備
改修工事について
- ・エコミュージアムセンター
の利用状況について

第一回臨時会

平成27年2月18日招集

平成二十七年第一回臨時会
は二月十八日招集され、会期
を一日と決し、議案一件を決
議し閉会しました。

議案審議結果

【予算】

▼平成二十六年度中川町一般
会計予算補正

■歳入歳出総額に、それぞれ
一三四、四三〇千円を追加し、
予算総額をそれぞれ四、八二
一、九三六千円とする

【原案可決】

主な補正内容は平成二六年
災林業用施設災害復旧工事、
平成二六年災公共施設災害復
旧工事費などの追加、地方債
補正

第二回臨時会

平成27年3月24日招集

平成二十七年第二回臨時会
は三月二十四日招集され、会
期を一日と決し、議案二件を
決議し閉会しました。

議案審議結果

【予算など】

▼工事請負契約の締結につい
て（平成二六年災町道板谷志
見山線地すべり災害復旧工事）

【原案可決】

■契約方法：指名競争入札
■契約金額：六七、七一六、
〇〇〇円

■相手方：中川郡中川町字中
川三五番地

株式会社 中川阿部建設

代表取締役 吉田 寛

▼平成二十六年度中川町一般
会計予算補正

■歳入歳出総額に、それぞれ
三八一千円を追加し、予算総
額をそれぞれ四、七二九、八
四七円とする 【原案可決】

主な補正内容は地域活性化
・地域住民生活等緊急支援事
業費などの追加、繰越明許費
補正

全国町村議会

議長会

自治功労者表彰

二月六日開催されました全
国議長会定期総会において、
多年にわたり地域の振興発展
に寄与された方の表彰が行わ
れました。

中川町議会の受章者は次の
とおりです。

○町村議会議員として十五年
以上

議員 佐藤 正



3月6日開催の第1回定例会において、
伝達式が行われました。

議会報告会

1月30日(金) 佐久地区公民館
2月5日(木) 保健センター集団検診室

議会報告会を1月30日及び2月5日に町内2か所で開催しました。

2会場で9名の町民の皆さまにご参加をいただきました。あらためましてご参加いただいた町民の
皆さまに心から感謝とお礼を申し上げます。



中川会場



佐久会場

総務常任委員会所管事務調査報告書

1 調査期間

平成26年6月18日から平成27年2月27日まで

2 出席委員

委員長 鎌塚 一成
副委員長 小川 鉄吉
委員 渡部 俊彦
委員 佐藤 輝雄

3 調査報告

(1) 中川町生涯学習センター「ちやいむ」について

社会教育の核施設として開設、供用開始した旧中川商業高等学校校舎の少子高齢化する社会情勢と本町の行財政ともバランスの取れた今後の運用が大きな課題である。特に利用者側に立つ利活用促進と諸経費の節度ある支出を考えた運用に大きな期待をするものである。

また、山村開発センターや他集会施設の運用と今後の展開には充分な住民意識をくみ入れた運用を期待する。

(2) グループホーム「ひだまり」について

日本の全てが少子高齢化する中にある本町は人口減が特に顕著であり、近未来の自

治体の推移に大きな行政課題がある中に、医療・福祉とい

う後に引けない施設づくりに対処すべく開設したところである。何よりもこの運営については深い協議を進めながら現在に至っている。住民負担の軽減はもとより将来に向けた健全運営を目指すべく、町としての基本的方針を確立すべく最大級の努力を求めるものである。

(3) 条例等審査経過

▼職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例について

■審査の結果

原案否決すべきものと決定
意見
特殊勤務手当の業務・支給の実態に合わない点や当該条例の一部に正すべき諸点も同

えるので、適時検討をされ改正条例の再提案が望まれる。

▼中川町グループホームの施設に係る指定管理者の指定について

■審査の結果

原案可決すべきものと決定

経済常任委員会所管事務調査報告書

1 調査期間

平成26年6月19日から平成27年2月27日まで

2 出席委員

委員長 坂尻 栄治
副委員長 菊池 広幸
委員 佐藤 正
委員 熊谷 健一

3 調査報告

①木材流通整備事業の現状と今後の展開について

木材流通整備事業の現状と今後の展開について、本年度より町有林整備事業において、除間伐材等の優位販売、中川産材のブランド化に向けて中間土場の設置及び薪産業の創出による木質バイオマス資源の有効活用に取り組んでいる。

このようなことから、当委員会として調査することに決定した。

■調査結果

(1) 平成25年度町有林整備事業実績及び除間伐材等の木材販売実績について、町有林間伐、択伐等の事業実績は7事業で総事業費約27,711千円であり、当事業に係る国・道補助金交付総額は約19,016千円であった。補助残額

8,695千円については町費負担である。

また、当事業により搬出された除間伐材は2,063㎡、この木材販売実績はパルプ材・家具材として10,809千円で販売されている。その結果、2,114千円の財産収入となっている。

現地調査について、中間土場跡地、薪生産現場、除間伐事業実施現場、作業路等の調査を実施した。調査結果として町有林整備事業が計画的かつ効率的に実施されている状況が確認できた。

(2) 中川産材のブランド化の取り組みについて、家具材購入先の調査を実施した。

○調査日

平成26年11月13日から14日

○調査場所

旭川家具工業協同組合（旭川市）、工房宮地（東川町）

○出席委員

坂尻委員長、菊池副委員長、佐藤正委員

○調査結果

今後は家具メーカーとして道産材家具の販売拡大を図る。具体的にはアメリカで販売強

化するとの営業方針などを伺った。

また、中川産クルミ材の原木購入する優位性について、木目の均一化が図られることが最大のメリットであることが伺った。さらに中川産クルミ材の特異性（赤みの濃さ）について調査を行っている。

(3) 委員会調査結論

今調査において、中川産木材のブランド化推進することに対して、町有林の資源量調査などの確に実施するとともに、本町の年間森林蓄積量並びに年間森林利用量の把握に努め、地域循環の木質バイオマス推進、持続可能な森林整備など継続性をもって展開し、森林整備事業者の雇用拡大など図る必要があると考える。



議 会 目 誌

一月

三十日 中川町議会報告会（佐久地区公民館）

二月

一日 国際森林フォーラム「下川町」
衆議院議員ささき隆博ふるさとの集い【旭川市】

〃

五日 中川町議会報告会（保健センター）
北の星座音楽祭「オリヴァー・シュニードトリオコンサート」【美深町】

十四日 西天北五町衛生施設組合定例議会【幌延町】
国営なかかわ地区直轄明渠事業期成会会議

十六日 第二回議会運営委員会
第一回議員全員協議会
第一回臨時会

十七日 上川町村議会議長会定期総会及び上川総合振興局幹部との行政懇談会【比布町】
今野紀男氏叙勲受賞祝賀会

十八日 第二回議員全員協議会
第三回議会運営委員会

〃

十九日 第三回議員全員協議会
第一回定例会（十二日まで）
予算条例審査特別委員会

〃

二十六日 第二回議員全員協議会
第三回議会運営委員会

〃

三月

（十一日まで）

十二日 第一回定例会（再開・閉会）
十三日 中川中学校第六十八回卒業証書授与式
北海道議会議員本間勲道政報告会【士別市】

十六日 中央小学校第四十二回卒業証書授与式
国営直轄明渠事業なかかわ地区竣工式並びに祝賀会

〃

十九日 中川町社会福祉協議会平成二十六年第三回評議員会
第四回議会議員協議会
第二回臨時会

〃

二十四日 中川町高齢者学級ボンピラ塾修了式
札幌中川会定期総会及び交流会【札幌市】

〃

四月

一日 中川町幼児センター入所式
東京中川会総会及び交流会【東京都】

〃

六日 中央小学校入学式
中川中学校入学式
天塩川中部商工会広域連携協議会平成二十七年定例会【美深町】

〃

十四日



4月6日 中川中学校入学式



4月6日 中央小学校入学式

編集後記

4年前の3月11日「東日本大震災」で未曾有の被害が東北・北海道を呑み込み、4年たった今でも失った人命と破壊され流された財物の大きさが脳裏によぎりまです。改めてお悔みを申し上げ、復興を祈念いたします。

さて早いもので今任期の最終広報「112」号の発行となりました。4年間で16回の発行を終えほつとしていきます。ご愛読いただいた方々に厚くお礼申し上げます。議会活動のお知らせを主にお伝えしたつもりですが、時々お叱りのご意見なども頂きましたことお礼申し上げます。

中川町での今任期中の大きな行政課題は、早いテンポでの少子高齢化と人口減少。そして基幹産業である農業の弱体化。

この対策に明け暮れた4年間でありました。町提案の振興策について、議会としまして委員会や特別委員会での審議を重ねたところがあります。今一度既刊の議会報をお読み頂ければと思います。

（二記）

議会広報特別委員会

委員長 鎌塚 一成
委員 菊地 広幸



道産 間伐材使用 この広報紙は道産間伐材を使用しています。